

白水社×法政大学出版局

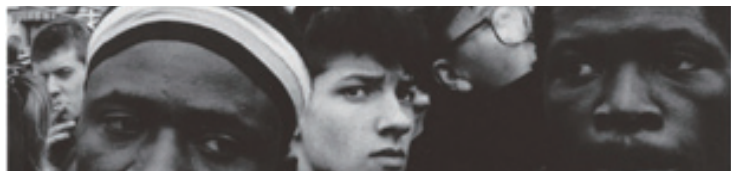
移民国家フランスの社会と人々

パリ同時多発テロ事件を考えるために

関連書

《叢書・ユニベルシタス1032》

フランスという坩堝 一九世紀から二〇世紀の移民史



ジェラルド・ノワリエル/大一中彌ほか訳
ISBN: 978-4-588-01032-3 C1030
2015年/四六判・516頁・定価(本体4800円+税)

★『日経新聞』『東京新聞』ほかで書評。
★人権と平等の国フランスで、「移民」という現象は歴史的にどのように出現し、推移し、語られてきたか。国民国家の記憶と歴史記述のなかで長らく無視されてきた存在に光をあて、1988年の初版刊行以来、移民・外国人差別、脱植民地化の問題を論じる際の必須文献。

注文部数 []

《サビエンティア4》

パスポートの発明 監視・シティズンシップ・国家



ジョン・トーピー/藤川隆男監訳
ISBN: 978-4-588-60304-4 C3330
2008年/四六判・324頁・定価(本体3200円+税)

★フランス革命以後、国家が国民の移動手段を合法的かつ独占的に掌握するのに決定的な役割を果たしたのがパスポートであった。本書は、近代以降のヨーロッパ各国およびアメリカの事例を具体的にあげながら、地方自治体や封建領主等から国家へと、合法的な移動手段が奪い取られていくプロセスを描き出し、パスポート制度という国際的なシステムの確立とその現代的な意味を問う。

大一中彌
が選ぶこの
1冊

《サビエンティア39》

言葉と爆弾



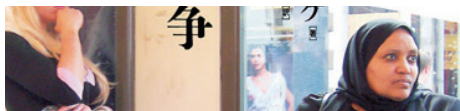
ハニフ・クレイシ/武田将明訳
ISBN: 978-4-588-60339-6 C1398
2015年/四六判・230頁・定価(本体2800円+税)

★『朝日新聞』『週刊新潮』『週刊ダイヤモンド』ほかで書評。
★ロンドンの連続爆破テロの衝撃を受け、緊急出版された。なぜ移民の子供たちがイスラム原理主義に傾倒するのか。その背景を、痛ましいほどの皮膚感覚で受け止め、神学や思想の言葉ではなく、現代の郊外を生きる人間の言葉で表現する。エッセイと小説をあわせて収録。

注文部数 []

《サビエンティア40》

ヴェール論争 リベラリズムの試練



C.ヨブケ/伊藤豊, 長谷川一年, 竹島博之訳
ISBN: 978-4-588-60340-2
2015年/四六判・280頁・定価(本体3000円+税)

★『朝日新聞』ほかで書評。
ヨーロッパ社会とイスラム移民の政治的・社会的な軋轢が増えている。本書はムスリム女性のヴェールを容認するイギリス、法律で禁止したフランス、キリスト教国家を前面に押し出すドイツの移民政策や受容と排除の問題を示す。

注文部数 []

《叢書・ユニベルシタス1018》

自然主義と宗教の間 哲学論集



ユルゲン・ハーバーマス/庄司信ほか訳
ISBN: 978-4-588-01018-7 C1310
2014年/四六判・470頁・定価(本体4800円+税)

★『朝日新聞』ほかで書評。
★哲学と宗教の関係をめぐるハーバーマスの主著。イラク戦争後の情勢を受けて、「公共圏における宗教」「宗教的寛容」について論じている。正統主義的な宗教意識の覚醒など、政治文化の危機を乗り越え、市民による公共的な論争への参加の重要性から、脱超越論化した理性のあり方を問い、ポスト形而上学的思考に新たな地平を切り開く。

注文部数 []

一般財団法人

法政大学出版局

Hosei University Press

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3
3-2-3 Kudankita, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0073, Japan

Tel. 03-5214-5540 | Fax. 03-5214-5542

Mail.sales@h-up.com

http://www.h-up.com/

移民国家フランスの社会と人々関連書

「移民国家フランスの社会と人々」パンフレット ()冊

ご芳名

お電話番号

帖合・番線